

新型コロナウイルス感染症拡大防止のお願い

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会は、「感染リスクが高まる5つの場面」を提言しました。市民の皆様には次のことにご注意いただき、感染症の拡大防止に努めていただきますようお願いいたします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



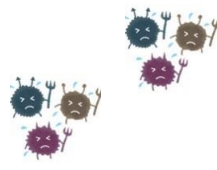
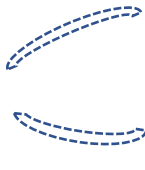
新型コロナウイルス感染症対策推進室(内閣官房)作成



冬の感染症予防対策



加湿と換気が大切です。
湿度40～60%が効果的です。



- 暖房を使用しながら、意識的に換気をしましょう。
- 加湿器などを使用し、湿度を保つようにしましょう。
- 机やドアノブなど、アルコール等による拭き掃除を行いましょう。
- 「こまめな手洗い、手指消毒」「咳エチケット」などの基本的な予防策は継続して行いましょう。